

講話「レオロジー・クラシック」2015

主 催：日本レオロジー学会

協 賛：化学工学会，紙パルプ技術協会，高分子学会，色材協会，日本化学会，日本材料学会，
日本バイオレオロジー学会，日本油化学会，日本ゴム協会，プラスチック成形加工学会

日 時：2015年6月19日（金）10:00～18:00

会 場：京都タワーホテル 6階 「ナポリの間」（京都市下京区烏丸通七条下ル TEL:075-361-3212）

趣 旨：レオロジーは現在の工業技術において不可欠の概念であるが，一方で初心者には取っ付きにくいと言われている．しかし学び方によるとそうではない．この講話においては，レオロジーの研究・教育のベテラン（レオ老人と自称している）が，面白くて役立つこの分野を易しく紹介する．

プログラム：

10:00～11:00

第1話 レオロジーとは

京都大学名誉教授 尾崎 邦宏

「レオロジー早分かり」を聞いて「そうか」と思っていたかく．代表的なレオロジーの現象を紹介し，分野の広さとその重要性を認識してもらう．レオロジーの勉強法を知っていただく．

11:00～12:00

第2話 レオロジー入門 Part I

京都工芸繊維大学名誉教授 高橋 雅興

「レオロジー」に入門する．ひずみ，応力，弾性率，粘度，粘弾性，緩和時間など基本的な用語を覚えてもらう．この学問分野の「真髄」をやさしく説明することにより，自分なりの「レオロジー像」を獲得していただく．

12:00～13:00 昼休憩

13:00～14:00

第3話 レオロジー入門 Part II

京都工芸繊維大学名誉教授 高橋 雅興

Part I を少し発展させて，測定法の基礎についても納得いただく．

14:00～14:15 休憩（コーヒー・ブレイク）

14:15～16:15

第4話 高分子レオロジークラシック

東京大学名誉教授 土井 正男

レオロジー研究の初期の歴史と高分子粘弾性の基本的な概念（粘度の3.4乗則，からみ合い分子量，高分子粘弾性の4領域，温度-時間換算則など），粘弾性理論の基礎になるゴム弾性の初歩などを分りやすく紹介し，20世紀の高分子レオロジーの目覚ましい展開を味わっていただく．

16:30～18:00

第5話 余談（懇談・懇親会） 「アテネの間」

軽い食べ物と飲み物を取りながら講師（レオ老人）と懇談すると，さらに理解が進むかもしれない．

参加費：主催，協賛学協会会員 30,000円 非会員 40,000円
講話資料，懇親会，単行本「講座・レオロジー」（お土産）付き

申込締切：2015年6月12日（金） 定員30名

申込方法：学会HPの申込フォームからお申込み下さい．

不可能の場合は申込書（HP からダウンロードしていただけます）に必要事項記入の上、メールでお申し込みください。

- ① 学協会会員である会社・事業所等よりお申し込みの場合は参加者が非会員であっても会員として扱います。
- ② 参加費は銀行または郵便局へお振込み下さい。お支払いは6月30日（火）までをお願い致します。
銀行：三菱東京UFJ銀行 出町支店 普通 4192464 ， 郵貯：01040-6-17564
名義は「一般社団法人日本レオロジー学会」共通です。
- ③ 申込者には6月中旬ごろに参加証（名札）を送付いたします。

申込先：一般社団法人日本レオロジー学会

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都リサーチパーク6号館3F

TEL:075-315-8687 FAX:075-315-8688 E-mail: office@srj.or.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/srj/>

会場アクセス：JR京都駅前正面

http://www.kyoto-tower.co.jp/tower_hotel/access/index.html

